

2017. 4. 23



NPOフォーラム・だより No.78

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 1016 さらしな館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp>

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム
年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

■ 青木繁「海の幸」記念館オープン1周年記念GWまつり

富崎まちかどミニ博物館&お宝さがし

※自家用車は JR バス停「安房自然村」周辺に駐車可。

◎ 4月29日(土)~5月7日(日) 10:00~16:00 記念館開館 入館料 200 円(友の会会員は無料) 小中高 100 円

* 安房自然村の森ウォーキング 4月29日(土) 5月5日(金)

9:30 布良崎神社集合 10:00~12:00 参加費 500 円

有志で森を整備し、階段を設けた遊歩道で頂上まで登り、手作りの
天空テラスで 360 度の眺望を楽しめる**健脚コース**！ 雨天中止。

* 親子で歩こう！ 神話の漁村めぐり 4月30日(日) 5月3日(水)

9:30 布良崎神社集合 10:00~12:00 参加費 500 円

青木繁が愛した漁村は、房総開拓神・天富命が上陸した神話の里。
女神山、阿由戸の浜、マグロ延縄漁・安房節発祥の碑などをめぐります。

<参加特典>

- ・記念館入館券&ところてんサービス・傷害保険付。
- ・希望者は、精神科医によるストレス度チェック(脳波検査)も受けられます。
- ・お昼は布良崎神社でパンやお弁当の移動販売あり。

* 漁師のロープワーク(もやい)体験 4月29日 5月2・4・6日(土火木土) in 布良崎神社

船を繋ぎ留める舳い綱の結び方は、キャンプや引越、災害救助など日常の場面で役立つ生活の知恵をプロの漁師から習ってみましょう。

* パンやお弁当販売 4月29・30日 5月3・5日(土日水金) in 布良崎神社

* おらがごつつお お楽しみ市 5月3・4・5日(水木金) in 青木繁「海の幸」記念館

<GW期間中の特別展>

* ピエロコレクション in 青木繁「海の幸」記念館

* 館山の海と伝説のダイバー・ジャックマイヨール展 in 安房自然村ホテル正翠荘

* 寺崎武男の奉納画展 in 布良崎神社

* 貝殻コレクション&溝口七生絵画展 in メラーノカフェ (布良崎神社となり)

* 懐かしの富崎&海女の写真展 …など

◇ 歴史を学び未来へつなぐ

主催:安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉関係者の会

◎ 5月20日(土) 14:00 川嶋みどりさんのお話 (赤十字看護大学名誉教授)

「人間宣言~1人の看護師の闘いと葛藤~」 in 平砂浦ビーチホテル

18:00 天羽道子さんのお話 (婦人保護施設かいた婦人の村名誉村長)

「かいた婦人の村の歩みからみえる日本の戦後」 in 鳩山荘松庵

懇親会 in 鳩山荘松庵

◎ 5月21日(日) 9:00 オプショナルツアー:かいた婦人の村と戦跡めぐり (NPO安房文化遺産フォーラム)

13:30 川島龍一さんのお話 (兵庫県医師会名誉会長)

「昭和史にみる医療の変遷」 in とみうら元気倶楽部さざなみホール

【参加費】 各日 1,000 円・懇親会 4,000 円(宿泊費別) ※要予約(090-3312-7607)

<予告> NPO総会 (A 会員)

7月2日(日) 13:30~

館山地区公民館

かいた婦人の村からボランティアのお願い

5月8日(月) 8:30~12:00 甘夏収穫作業

5月26・27日(木金) 8:30~14:00 エマオバザー

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

ガイド・サポートスタッフ募集中!

- ◎ 10名以上の団体を対象に、スタディツアーガイドを有料で承っています。
 - ・ガイド料=1人あたり500円。座学・ガイドブック付は1,500円。時間・内容・料金等については応相談。
- ◎ 毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス実施しています。

4月22日(土) 15:10~17:10	中央学院大学法学部1年 27名=座学
4月23日(日) 8:00~15:00	// =大巖院・赤山・かいた村・青木繁記念館
4月26日(水) 10:00~12:00	昭和女子大学附属昭和高校 180名=座学
4月27日(木) 10:00~12:00	// =赤山
5月 3日(水) 9:30~12:00	すぺーすはちのこ 12名=赤山・かいた村・青木繁記念館
5月 6日(土) 9:30~12:00	// 7名=赤山・かいた村・青木繁記念館
5月 7日(日) 9:30~12:00	赤山地下壕ガイドサービス
5月10日(水) 9:00~13:00	ライドン・溝口ツアー(米国モントレー一行) 33名=赤山・かいた村・座学
5月14日(日) 10:30~16:30	城南3法人 OB会(民医連:ラッキートラベル) 20名=座学・赤山・かいた村
5月17日(水) 10:00~16:30	女性の人権を考えるフィールド 10名=座学・赤山・かいた村・大巖院
5月19日(金) 14:00~16:00	三芳生涯学習推進員 30名=青木繁記念館
5月21日(日) 9:00~12:00	歴史を学び未来へつなぐ 30名=赤山・かいた村
5月22日(月) 10:30~15:30	駒場歴史を歩く会 120名=赤山・青木繁記念館
5月24日(水) PM	日蓮宗研修 20名=赤山
5月25日(木) 12:00~16:00	神奈川私鉄労組 16名=座学・赤山・上陸地
5月26日(金) 10:55~11:40	コープみらい・年長者組合印西支部 30名=青木繁記念館
6月 3日(土) 16:00~18:00	明星大学1年=座学
6月 4日(日) 8:00~15:00	// =大巖院・赤山・かいた村・青木繁記念館
6月12日(月) 9:40~15:30	臼井文化懇話会 32名=青木繁記念館・赤山
6月27日(火) 15:15~16:05	佐倉高校=出前授業

安房の殖産興業の立役者「小原金治」のNPO調査研究が活かされ、村上吉夫・信子さん宅(会員)「小原家住宅」が国登録となる快挙! 恒例のガーデンパーティも企画! 乞うご期待。



小原家住宅の主屋=館山市南条で

館山市南条にある「小原家住宅」が、国の登録

文化審議会が答申 主屋・離れなど6件

小原家 国の登録文化財に

館山

有形文化財となることになった。国の文化審議会が10日、答申した。主屋が対象。市内の登録物件が14件となる。登録有形文化財は、地域の身近な文化財を守り、地域の資産として生かすため平成8年に設けられた登録制度。同審議会では今回新たに6件の建造物を登録するよう文科相に答申した。小原家は江戸時代から続く旧家。安政6年(1859)ごろの建築とされる主屋は、明治期に原議 衆議院議員を務めた当時の当主・小原金治が

明治29年(1899)に改修し、昭和初期に補修された。寄棟造の主体部は、所や土間が接続する世帯から近代への増改築の変遷をよくとらえたつくりが特徴で、透かし彫りや手の込んだ欄間彫刻など、代後藤義光の仏壇彫刻など、良質な建築の離れ、家紋入りの墨根瓦で風格のある表門、米蔵、文庫蔵

現在館山市内の国登録有形文化財は、鈴木家住宅の主屋など、紅橋商店舗など、巴橋、洲崎灯台、小高記念館の計8件。

房日新聞 2017.3.11

2年連続で3万人超え

観光資源に 定着 入壕者過去最多更新

館山市の戦争遺跡「館山海軍航空隊赤山地下壕」の平成28年度1年間入壕者数は3万1550人(前年度比32人増)で、過去最多を更新して2年連続で3万人を超えた。前年度の戦後70年で注目され、平和学習、観光のスポットとして定着し、総延長約1.6キロもある全国的にも大規模な防空壕で、館山を代表する戦跡のひとつ。入壕者数はこれまでは

館山市の戦争遺跡「館山海軍航空隊赤山地下壕」の平成28年度1年間入壕者数は3万1550人(前年度比32人増)で、過去最多を更新して2年連続で3万人を超えた。前年度の戦後70年で注目され、平和学習、観光のスポットとして定着し、総延長約1.6キロもある全国的にも大規模な防空壕で、館山を代表する戦跡のひとつ。入壕者数はこれまでは

27年の戦後70年で数多くのテレビや新聞で紹介されて注目を集めたことが大きな要因だが、節目の年が過ぎ、28年度は減少するのでは」と見ている市の担当者も変わらぬ人気ぶりに驚く。

過去最多を更新し3万人を超えた28年度の入壕者=館山

2人で全体の約75%。前年度は戦後70年の団体客が多くなり、反動で団体客は減ったが、個人での利用が伸び、おり、「平和学習の拠点

は」と話している。

旧長屋門など計6件が登録される。

現在は金治の孫の小原多喜さん(96)と娘夫婦の村上吉夫さん(76)、信子さん(72)が居住している。

登録決定に村上夫妻は「江戸時代から受け継がれてきた歴史ある建物が文化財として認められ、登録が決まりうれしい。今後はイベントに公開するなどして日本建築の良さを多くの人に知ってもらいたい。小原さんも「ありがたい」と喜んでいた。

8月が最多だが、春・冬の名度も増え、花摘みなど春観光の際に訪れる人も増えてきている。

く、観光資源としても定着してきた」と分析する。月別では、例年と同じく戦争への関心が高まる

2人で全体の約75%。前年度は戦後70年の団体客が多くなり、反動で団体客は減ったが、個人での利用が伸び、おり、「平和学習の拠点

は」と話している。

旧長屋門など計6件が登録される。

現在は金治の孫の小原多喜さん(96)と娘夫婦の村上吉夫さん(76)、信子さん(72)が居住している。